

中学校統廃合の可能性について

～ 当面考えていない ～



あか みね てる ひろ
赤 峰 映 洋

創 生 会

質

旧町村ごとに中学校があるが、生徒数の減少に伴い、旧町村を越えての統合は考えていないか。

答
教育長

昨年5月時点では、中学校の生徒数が831人です。10年後には約1000人の減と予測しています。旧町村ごとにある中学校は地域とともに学校づくりを進めており、当面の統廃合は考えていません。

質

教職員の職場環境の改善と改革は今後どうするのか。

答
教育長

教職員の負担軽減は、教職員の働く環境を整え、学校の教育力の維持と向上を図る上で重要です。家庭や地域の力をお借りすること等とともに、本年度から豊後大野市働き方改革検討委員会を立ち上げ、改革を進めています。

学校図書館の今後の在り方は

～ 利用促進や読書活動の充実を進める ～

質

学校図書館は次世代を担う子どもたちの主体的に学ぶ場所として最もふさわしい場所である。学校司書の意見を十分反映した運営をしているか。

答
教育長

図書館で朝の読書活動を行ったり、児童・生徒の読書感想文や読書感想画の掲示、さらに図書委員会による読

質

書月間の企画を行うなど、司書と連携しながら活動をしています。

教員と司書の連携は、教員の仕事の軽減や生徒に向き合う時間を多くすることにも大変効果があると思う。

現在、近くの学校と兼務している学校があるが、各学校に一人を配置する考えは。

答
教育長

学校司書は、兼務校はありますが、司書資格を持つ嘱託職員13人を小・中18校に配置しています。

図書館活用の在り方や司書との連携について研究を深め、より使いやすい図書館づくりに努めます。

答
学校教育課長

予算や他市の状況等を把握し、今後検討していきたい。





かわのゆうじ
川野優治

緑 政 会

本市の農業の将来は

～ 魅力とやりがいがあるものにする～

質

就農者人口の激減が予想される中、本市の農業の将来は大丈夫か。

答 農業振興課長

本市は県下でも有数の農業地帯であり、各種圃場整備事業によって生産基盤が整備され、作物の生育に適した農地を有しています。

また、担い手である認定農業者や集落営農組織を中心に、低コスト・省力化に向けた取り組みが展開されています。

このような貴重な資源や人材を十分に生かせる産業は、農業において他にはないと考えています。

今後も安全・安心な農畜産物を生産するため、農地中間管理事業を積極的に活用し、農業委員会と連携して担い手への農地の集積・集約化を加速させること、さらには経営所得

安定対策により、担い手として位置付けられた認定農業者、集落営農組織等を基本に、麦、大豆、飼料用米など、需要に応じた作物の生産振興により、自らの経営判断で作物を選択するなど、目標にチャレンジする農業経営者が活躍できる環境の整備に取り組みます。



いじめをなくせ

～ より充実した対応を図る～

質

いじめ対策は。

答 教育長

学校では、まず、いじめの未然防止を第一に取り組んでいます。具体的には、各学級での人権教育、各行事を通して異学年交流、小・中連携での取り組みなどがあげられます。

また、いじめを把握した場合は、管理職、生徒指導主任等を中心とした校内いじめ対策委員会などで組織的に対応することを各種会議で指示しています。解決に当たり、※スクールカウンセラーや※スクールソーシャルワーカーなど、専門的スタッフの力を活用しながら、早期解決を目指しています。

※スクールカウンセラーとは…

子どもの臨床心理に関して高度な専門的知識を有する臨床心理士などで、不登校やいじめなどに対する指導、児童生徒の問題行動などに対応するためのカウンセリングや教職員への助言などを行う職員。

※スクールソーシャルワーカーとは…

ソーシャルワーカーとは、主に社会的弱者への福祉相談業務に従事する福祉職の専門家であり、スクールソーシャルワーカーは、そのうち教育機関において、当該任務に就く者のこと。